

背景と経緯

- 隅田川下流域を中心とした水辺の魅力を活かした東京の顔づくりに取り組み、およそ10年が過ぎようとしている。
- 東京の水辺を取り巻く状況は、**河川空間の利活用の進展**や**新しい生活様式**等の大きな変化を迎えている。
- 未来の東京に向けて、**隅田川等が持つゆとりと潤い**を活かした水辺整備の今後の方向性を検討したものである。

2014 (H26～)

隅田川下流域を中心とした事業展開
水辺の拠点整備や動線強化、利活用の規制緩和など

2024 (R6～)

未来の東京に向けた次の10年、その先への取組

今後のあり方

行政・民間・地域等の計画や企画など



動線強化 (テラス照明)

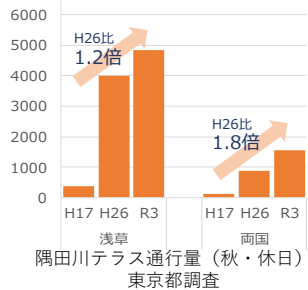


隅田川テラスの利活用

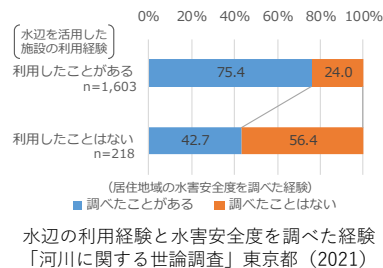
これからの水辺整備に求められるもの

- 水辺空間を**都市の貴重なオープンスペース**として捉えた上での**地域の特性に合わせた利活用の促進**
- 人々の意識や行動が変化する中での、ゆとりや居心地の良さ等の**水辺空間への新たなニーズやポテンシャル**の活用
- 水辺空間の整備と利活用を進めることによる**防災機能 (ハード)**と**防災意識 (ソフト)**の向上

水辺空間の利用ニーズは増加



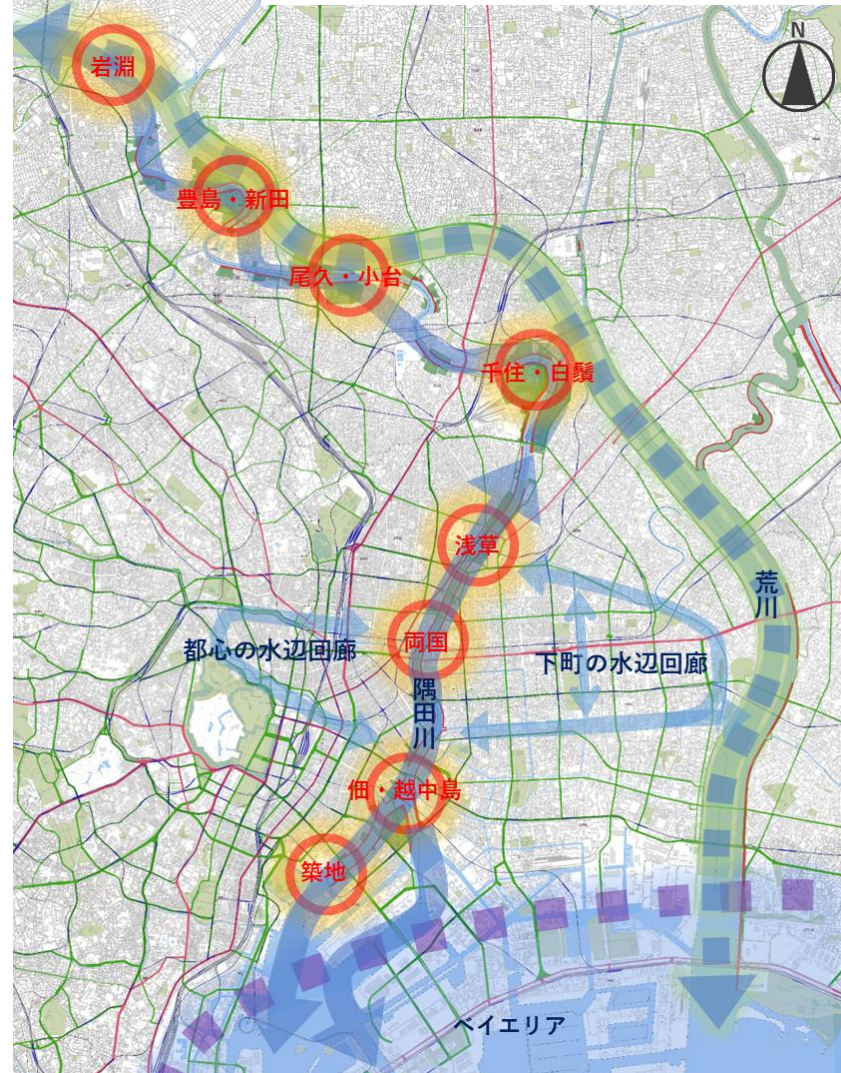
水辺を活用した施設の利用者は、水害安全度について調べた経験が多い



隅田川等における水辺整備に関する今後の方向性

『水辺のゆとりと潤いを活かした東京の顔づくり』

水辺のゆとり・うるおい・にぎわいをつなぐ



「点」「線」「面」による水辺を基軸としたネットワークの構築

- 「点」：『水辺の拠点』を設定し、重点的に施策を実施
- 「線」：『川の軸』を展開し、動線・ネットワークを強化
- 「面」：『水辺を利活用』を進め、水辺の魅力を街に広げる



水と緑のゆとりと潤いにあふれる水辺



人々が集いにぎわいが生まれる水辺

今後の取組展開

- ①隅田川下流域の拡充
- ②隅田川上流域への拡大
- ③他の流域への展開

『水辺のゆとりと潤いを活かした東京の顔づくり』の取組イメージ

隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方【概要版】2023年6月

※取組イメージは、方向性を踏まえた一案であり、実現に当たっては、各主体による具体的な計画立案や関係機関・地域等との調整を要するものである。

居心地が良く歩きたくなる水辺空間の創出

隅田川全域で
水辺のウォークアブルネットワークを創出する

- 重点施策エリア（水辺の拠点）における集中的な取組の展開
 - 〔築地〕〔佃・越中島〕〔両国〕〔浅草〕〔千住・白鬚〕〔尾久・小台〕〔新田・豊島〕〔岩淵〕
- 水辺の動線強化の推進
 - 動線強化（照明、連続化、スロープ等）の下流域での拡充と上流域への展開 等
- ウォークアブルな水辺空間の創出
 - 舗装の再修景、段差解消、緑化の充実、ベンチ、サインの設置等（ウォークアブルデザインの導入検討） 等



動線強化（照明）のイメージ



居心地の良い修景のイメージ

まちづくりと連携した河川整備の推進

まちづくりの機会等を捉えた官民連携による
水辺の拠点整備を推進する

- 再開発や公園整備等と連携したスーパー堤防等の河川整備
 - 再開発や都市再生等のまちづくりと連携した河川整備
 - 荒川高規格堤防や沿川公園と連携した河川整備 等
 - 地域の交流や街の活性化につながる「まちづくり」との連携
 - 沿川地域のまちづくりビジョン等の都市計画や景観形成との連携
 - 地域や民間と連携した河川施設の活用 等
- ※地域や民間による利活用と連携した河川整備や河川施設等の活用を進めていくことで、水辺と街のつながりを強化していく。



まちづくりと連携した堤防活用イメージ



船着場関連施設の活用イメージ

恒常的な利活用の仕組みづくり

多様な利活用を生む、持続可能な水辺の
マネジメントの仕組みを構築する

- 特例占用の更なる活用による水辺のにぎわい創出
 - 民間事業と連携した利活用の促進（イベント広場等の面的な占用の試行） 等
 - まちづくりと連携した利用環境の向上（アクセスサインや電気、水道等） 等
- 多様な主体の活動を促すための仕組みの構築や情報発信の強化
 - 中間支援組織の検討（利用調整や情報発信、公共貢献等の一元化等） 等
 - 隅田川サポーター等による水辺の活動連携や情報発信の強化 等



テラスでのイベント広場のイメージ



恒常的な水辺の利活用イメージ

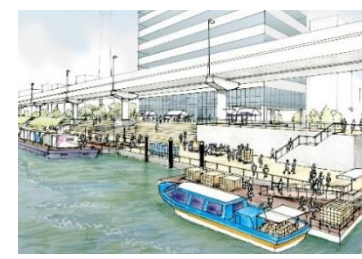
新たな事業展開・連携

隅田川上流域や他河川等での可能性を模索し、
新たな水辺の利活用へと広げていく

- 舟運等の活用による隅田川と荒川を結ぶネットワーク構築
 - 隅田川と荒川を結ぶ舟運やイベント等と連携した防災船着場の活用（防災船着場の平常時利用拡大、荒川河川敷の利用連携等） 等
- 健康増進や防災意識向上への取組促進、他河川への展開
 - ウォーキングコースの設定等による健康増進への取組や防災船等を活用した防災訓練の展開
 - 利活用のルールや先例事例などの情報発信強化による他河川への展開 等



緑豊かな荒川河川敷の利用連携イメージ



防災船等を活用した防災訓練のイメージ

今後の展開の考え方

- 各主体による具体的な計画検討
- 上下流での水辺の動線強化の推進
- 水辺の拠点での沿川まちづくりとの連携
- 次の10年を目標とした段階的な発展
- 隅田川をロールモデルとした展開

これまでの10年

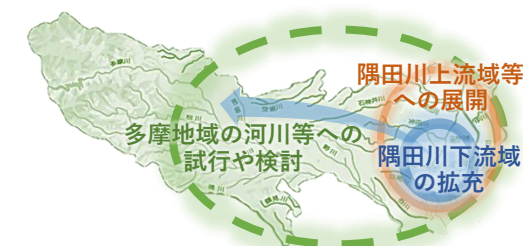
人々が集い、にぎわいが生まれる水辺空間の創出

- 隅田川下流域を中心とした事業展開
- 照明等の動線強化、官民連携事業等の導入

これからの10年

水辺のゆとりと潤いを生かした東京の顔づくり

- 水辺のオープンスペースの更なる利活用促進
- 隅田川の下流域の拡充、上流域への展開
- 多摩地域の河川等への試行や検討



未来の東京へ

隅田川をロールモデルとした東京全体への展開

- 隅田川等の水辺整備のさらなる発展・成熟
- 他流域も含めた東京の水辺全体への展開